



週間情報



No.2728

発行日 平成27年7月21日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ 八女市星野少年消防クラブ大会を実施

八女消防本部（福岡）

八女消防本部では、平成27年5月23日（土）、八女市星野地域活性化施設において、八女市星野少年消防クラブ大会を実施しました。

今年度は新たに5年生7名、6年生1名が加入しました。八女市星野村は平成24年7月九州北部豪雨において村内全域が孤立地域となり、ライフラインが途絶する等の甚大な被害を受けました。この大会では、災害記録DVDの上映会を行い、水害の恐ろしさを学びました。クラブ員は、「災害のない安全で安心な地域づくり」を目指して防火・防災の普及活動に取り組んでいきます。



【八女市星野少年消防クラブ大会の様子】

訓練

◆ 平成27年度 沖縄県中部消防長会水難救助訓練を実施

沖縄県中部消防長会（沖縄）

沖縄県中部消防長会では、平成27年6月10日（水）から12日（金）までの3日間、北谷町美浜フィッシャリーナにおいて、沖縄県中部の6消防本部（うるま市・浦添市・沖縄市・宜野湾市・中北・ニライ）での合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は中部地区消防本部の連携強化のため、毎年6消防本部持ち回りで計画し実施されているもので、今回はニライ消防本部管轄で水上バイク操船訓練と視界不良海域での潜水検索訓練を行いました。

訓練3日目には、海上保安庁（第十一管区海上保安本部那覇航空基地から機動救難士3名、那覇海上保安部から5名の潜水士）が想定訓練に初参加し、相互の連携を深めました。



【水難救助訓練の様子】

◆ 消防及び警察機関合同訓練を実施

渋川広域消防本部（群馬）

渋川広域消防本部では、平成27年6月18日（木）、解体予定の渋川市赤城行政センターで、隣接する前橋市消防局、吾妻広域消防本部及び群馬県警察本部機動隊との合同訓練を実施しました。

この訓練では、大震災など災害発生時に備えそれぞれの機関が連携し、倒壊した建物からの救出活動技術の向上を図りました。大災害発生時にはともに活動する機関として、より強固な関係の構築が図られ、今後も継続して合同訓練を実施していきます。



【合同訓練の様子】

◆ 長期浸水検索救助訓練を実施

高知市消防局（高知）

高知市消防局では、平成27年6月21日（日）、管内にある鏡ダムにおいて、南海トラフ地震と津波に伴う長期浸水を想定した長期浸水検索救助訓練を高知市消防団と合同で実施、消防職員20名と消防団員20名が参加しました。

内容は、瓦礫内でのボート操船訓練、瓦礫内での検索救助訓練及び総合検索救助訓練で、それぞれの訓練において情報伝達及び検索救助方法を確認しました。

訓練後の検討会では、「思った以上に瓦礫内でのボート操船が困難」、「船外機が使用できないため人数分のオールが必要」、「とび口等瓦礫を取り除く資器材が必要」等の意見があがりました。

今後も、このような実災害に近い状況での実践的訓練を継続していく予定です。



【長期浸水検索救助訓練の様子】

◆ 柏市消防局・千葉県警第三機動隊合同訓練を実施

柏市消防局（千葉）

柏市消防局では、平成27年6月21日（日）、UR都市機構の協力により、建て替え予定の解体団地を活用し、当市消防局の国際救助隊登録隊員と千葉県警第三機動隊で合同訓練を実施しました。

訓練では、大地震により建物が崩壊し、要救助者を取り残されたとの想定で実施し、救助技術の向上と県警との連携を図ることができました。

隊員からは、「実際の建物を使用することで、より実践に近い形で技術を身に付けることができた。この経験を災害時に役立てたい。」などの声が聞かれ、過酷な災害現場で活動する隊員にとって、心構えを新たに作る有意義な訓練となりました。



【柏市消防局・千葉県警第三機動隊合同訓練の様子】

研 修 等

◆ 市立保育園、幼稚園の先生を対象にした消防訓練研修を実施

浦安市消防本部（千葉）

浦安市消防本部では、園児を守る先生達の自衛消防力を高めるために、平成27年6月11日（木）、17日（水）の2日間、当市内にある神明幼稚園を会場として、市立保育園、幼稚園の先生を対象に消防訓練研修を実施しました。

両日ともに、火災概要と火災が起きた時の行動についての講義を行った後、園内の居室に煙を焚き煙の怖さを体験してもらいました。また、消防職員による消防設備の説明を行い、その後2つのグループに分かれて模擬の火災想定訓練を実施しました。実際にベルが鳴っている状態での消防訓練を行ったことがない先生が多くいましたが、一つ一つの訓練に関心をもって取り組み、自衛消防の意識を高めました。

今後も保育園、幼稚園の消防訓練研修を行っていく予定です。



【消防訓練研修の様子】

◆ 鉄道災害時の安全対策研修会を実施

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、平成27年6月23日（火）、兵庫県宝塚市にある阪急電鉄平井車庫において、鉄道災害時の安全対策研修会を実施しました。

この研修会は、平成14年11月にJR西日本東海道本線で発生した人身事故において、救助活動中であった消防職員が後続の列車にはねられ殉職したことを受け、平成15年2月に鉄道機関と消防機関の間において、「鉄道事故時の安全対策に関する覚書」を締結し、軌道敷内で人身事故や火災が発生した場合の通報体制や救助・救出活動時の安全管理体制を確立するために、当市消防局が幹事となり、平成16年度から実施しています。

12回目となる今回の研修会には、同電鉄の沿線を管轄する9市3町の消防職員と阪急電鉄の職員合計62名が参加しました。研修内容は、鉄道災害が発生した場合の緊急連絡体制や車両の構造等を学んだほか、救出基本訓練では実車両を使用し、座席シートを利用した救出訓練及び車両ジャッキアップ訓練を実施しました。



【鉄道災害時の安全対策研修会の様子】

その他

◆ 救急ワークステーションを開所

～特別救急隊（フェニックス アンビュランス）発足～

堺市消防局（大阪）

堺市消防局では、平成27年7月1日（水）、市立堺病院が堺市立総合医療センターとして新築移転することにあわせて「救急ワークステーション」を併設し、開所しました。

本ワークステーションには救急隊が常駐し、必要に応じて医師・看護師が救急車に同乗するドクターカーとして運用するほか、多数傷病者が発生した際には、救急指揮隊として他の救急隊の統制を行います。

また、緊急時における対応だけでなく、救急救命士の研修の場としても位置付けており、新人救急救命士を本ワークステーションに配置し、指導的立場の救急救命士や医師・看護師の指導・助言を受け、病院実習を行うなど、スペシャリストの救急救命士を育成する施設としても活用します。

本ワークステーションの救急隊を「特別救急隊」とし、愛称を「フェニックス アンビュランス」と名付けました。

これまで以上に消防局と病院側とが連携し、ドクターカーの運用をはじめ、救急隊員が質の高い教育を受けることで、病院前救護体制の充実と、救命率の向上に努めていきます。



【堺市立総合医療センターと特別救急車】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 消防職団員の安全管理等（熱中症対策）の再徹底について（7月10日、消防消第146号・消防地第175号）

消防・救急課長、国民保護・防災部地域防災室長より、都道府県消防防災主管部局長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

消防職団員の安全管理等については、「消防職団員の教育訓練時における安全管理等の再徹底について」（平成21年7月8日付け消防消第197号）等により徹底をお願いしていますが、夏季期間中を中心に毎年のように熱中症に起因する事故が発生している状況にあります。また、気象庁の発表によれば、今年の夏（6～8月）の平均気温は、平年並みか平年より高いとの予報があることから、より一層の対策が求められるところです。

このことから、貴職におかれましては、各消防本部、各消防学校及び各消防団に対し、熱中症対策を含めた安全管理体制及び健康管理体制について、改めて点検いただくとともに、「警防活動時等における安全管理マニュアル」（平成23年3月30日付け消防消第40号・消防災第129号）及び「訓練時における安全管理マニュアル」（平成24年3月29日付け消防消第69号・消防災第123号）のほか、労働環境や運動環境の目安として、環境省が発表する「暑さ指数（WBGT）」等も参考にしながら、熱中症対策に万全を期すよう御指導願います。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2707/pdf/270710_syou146_chi175.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防・救急課職員第一係

担当：大河内・永田

国民保護・防災部 地域防災室 消防団係

担当：山下（裕）・吉田

報道発表

◆ 消防団の組織概要等に関する調査の結果（平成27年4月1日現在）（7月14日、消防庁）

消防庁では、全国の市区町村（消防団事務を実施している消防本部、一部事務組合を含む）を対象に、平成27年4月1日現在の消防団の組織概要等に関する調査を行い、速報値を取りまとめましたので公表します。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270714_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 国民保護・防災部地域防災室

担当：猪鼻補佐、山下係長、高村事務官

◆ 「平成27年度 救急業務のあり方に関する検討会」の発足（7月14日、消防庁）

平成26年中の救急自動車による救急出動件数は約598万件（速報値）と過去最多となり、119番通報から病院収容までの搬送時間も39.3分と延伸（平成26年版「救急・救助の現況」）を続けています。今後も高齢化の進展等による救急需要の増大が予想される中で、救急業務を安定的かつ持続的に提供していくための方策を検討することを目的に、標記検討会を発足いたします。

今年度の標記検討会では、社会資源の有効活用の視点から、消防機関以外の資源の活用を推進するとともに関係機関との連携を強化するため、消防機関以外の救急救命士の活用、救急車の適正利用の推進及び緊急度判定体系の普及について検討します。また、消防機関内部で救急業務の質の向上に向けた取組を推進し、適切なサービスを提供するため、個別事案の分析による搬送時間延伸の要因解決、救急業務に携わる職員の教育、蘇生ガイドラインの改訂への対応及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への対応について検討します。

以下（省略）のとおり、第1回会合を開催しますのでお知らせいたします。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270714_houdou_3.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 救急企画室

担当：田中補佐、上條補佐、新田係長、濱砂事務官

◆ 平成26年（1月～12月）における火災の状況（確定値）（7月16日、消防庁）

前年と比較すると、総出火件数は減少していますが、火災による死者数は増加しています。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270716_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 防災情報室

担当：明田補佐、塚狹係長

◆ 危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）に対する意見募集の結果及び省令の公布（7月17日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）の内容について、平成27年5月30日から平成27年6月29日までの間、国民の皆様から御意見を募集したところ、本件に対する御意見はありませんでした。これを踏まえて、本日当該省令を公布しました。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270717_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】 危険物保安室

担当：近藤課長補佐、後藤

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp